令和９年度

学　生　募　集　要　項

（帰国生徒特別選抜）

入　　学　　案　　内

区分	ＷＥＢ出願期間	出願書類受付期間	試験日（選抜期日）	合格発表
帰国生徒 特別選抜	令和８年12月１日(火) ～令和９年１月15日(金)	令和９年１月12日(火) ～令和９年１月15日(金) （出願資格照会期限： 令和８年12月11日(金)）	令和９年２月14日(日)	令和９年３月３日(水)

独立行政法人国立高等専門学校機構

徳山工業高等専門学校

〒745－8585　山口県周南市学園台

電　話（0834）29-6233（学生課）

ＦＡＸ（0834）29-6161（学生課）

E-mail kyoumu@tokuyama.ac.jp（学生課）

URL　https://www.tokuyama.ac.jp/

目　次

趣　旨 1
Ⅰ．入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー） 1
1.　求める学生像 1
2.　入学者選抜方針 1
Ⅱ．募集人員 1
Ⅲ．入学者の選抜 1
1.　出願資格 1
2.　出願期間 2
3.　出願について 2
4.　選抜の方法 4
5.　選抜日程 4
6.　追試験 4
Ⅳ．出願上の注意事項 5
Ⅴ．合格者の発表 5
Ⅵ．入学確約書の提出 6
Ⅶ．新入生修学指導説明会 6
Ⅷ．学力検査成績の開示について 6
Ⅸ．事務電算上で使用可能な漢字について 6
Ⅹ．入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して 7
Ⅺ．災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置について 8
Ⅻ．ＷＥＢ出願手順について 8
XIII．徳山工業高等専門学校入学案内 10

趣　旨

グローバル化が進展する中で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（いわゆる帰国生徒）も増えつつあります。これらの生徒は受けてきた教育が異なることもあり、そのことをもって、本校入学者選抜において、不利益となることのないよう、別に選抜を行い、入学を認めることとします。

Ⅰ．入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）

1.　求める学生像

入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）は、本校の学習・教育目標（世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす）を達成できる能力を持った学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

・数学、理科及び英語の基礎学力が身についている人
・信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
・勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
・ものづくりが好きで、社会の発展に役立ちたいと考えている人

2.　入学者選抜方針

本選抜においては、筆記試験で、国語、英語、数学、理科の４科目を実施し、数学、理科及び英語の基礎学力が身についているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を２倍、理科及び英語を1.5倍に換算します。また、他の教科では主に十分なコミュニケーション能力を身につけているかを評価します。さらに一般面接（意欲、ものづくりが好きで社会の発展に役立ちたいと考えているか、信頼される技術者を目指しているかを評価）を行い、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。

Ⅱ．募集人員

学科名	募集人員
機械電気工学科	若干名
情報電子工学科	若干名
土木建築工学科	若干名

Ⅲ．入学者の選抜

1.　出願資格

（1）出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して２年以上の者で、令和７年４月以降の帰国者）で、次のいずれかに該当する者とする。

① 中学校、義務教育学校を卒業又は令和９年３月に卒業見込みの者
② 中等教育学校前期課程及び文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了又は令和９年３月に修了見込みの者
③ 外国において学校教育における９年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）又は令和９年３月に卒業（修了）見込みの者

(2) 資格照会

入学を志願する者は、出願資格等を確認するので、**必ず令和８年 12 月 11 日（金）まで**に本校学生課に、電子メール（kyoumu@tokuyama.ac.jp）又は郵便により照会してください。その際、(1)出願資格のいずれに該当するのか、外国の中学校等の名称、在学期間をお知らせください。

2. 出願期間

ＷＥＢ出願期間	出願書類受付期間	受付時間	留意事項
令和８年 12 月１日（火） ～令和９年１月 15 日(金)	令和９年１月 12 日（火） ～令和９年1月15日(金)	土日祝日を除く 9:00 ～ 16:30	（郵送の場合） 1)**期間内必着**とする。 2)国内の場合は簡易書留とし、国外の場合はEMS（国際スピード郵便）とする。 3)封筒の表面に「帰国生徒特別選抜願書」と朱書する。

※年末年始休業期間（令和８年 12 月 26 日～令和９年１月３日）は問い合わせ等の対応ができません。

3. 出願について

出願手続きについては、志願者による「ＷＥＢ出願サイト」での出願事前手続きの後、在籍中学校等経由等で、出願に必要なすべての書類が本校に受理されたことをもって、出願手続完了となります。

志願者は本校ホームページ（https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/youkou.html）から「ＷＥＢ出願サイト」にアクセスして、ユーザ登録を行う必要があります。ユーザ登録を行うことによって、「ＷＥＢ出願サイト」上で、入学願書および受験票・写真票の作成・印刷などの出願事前手続を行うことができます。また、検定料の支払いも「ＷＥＢ出願サイト」上で行うことになります。

８頁の「Ⅻ.ＷＥＢ出願手順について」及び本校ホームページの入試情報ページ（https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/youkou.html）に掲載している「ＷＥＢ出願エントリー説明書」を参考にエントリーしてください。

(1) 提出先

徳山工業高等専門学校学生課教務係

〒745-8585　山口県周南市学園台

(2)　出願手続及び出願書類

出願書類は、下表のとおりです。①～③は、WEB 出願サイト上で作成してください。④～⑤は、電子媒体様式を、本校ウェブサイトよりダウンロードし、②と併せて在籍学校で取りまとめて提出してください。ただし、１頁の「１.出願資格」の③に該当する者ならびに①～②に定める教育機関を卒業又は修了した者は、志願者本人が提出してください。ＷＥＢ出願の方法については、８頁をご確認ください。

出願書類	留意事項
① 入学願書 ※1	「ＷＥＢ出願サイト」上で必要事項を入力してください。「ＷＥＢ出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものとして取り扱いますので、**紙媒体での提出は不要です。** 出願後の志望学科の変更は認めません。
② 写真票 ※1	「ＷＥＢ出願サイト」でダウンロードしたものをカラー印刷し、③の受験票と切り離してください。写真をアップロードしない場合は、写真（出願前３か月以内に撮影したタテ 4.5cm ヨコ 3.5cm カラー写真とし、無背景・無帽かつ正面上半身のもの）を貼付してください。
③ 受験票 ※1	「ＷＥＢ出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものとして取り扱いますので、**紙媒体での提出は不要です。** なお、受験票は試験当日に持参していただきますので、「ＷＥＢ出願サイト」からダウンロードしたものを印刷し、大切に保管してください。
④ 調査書 ※1※2	「山口県統合型校務支援システム」から出力、または本校 HP よりダウンロードした調査書を使用し、在籍学校長が必要事項を記入してください。 「Ⅲ１.(1)出願資格③」に該当する者は、当該学校が発行する成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。この際、成績証明書には 100 点法との対応表を添付してください。 卒業見込みの者にあっては、第３学年の第２学期までの記録に基づき記入してください。中学校卒業後一定の期間を経過し、出身中学校長が調査書を発行できない場合は、令和８年 11 月 30 日（月）までに、本校にご連絡ください。
⑤ 海外在住状況説明書 ※1※2	出願者が必要事項を記入してください。
⑥ 検定料 ※1	16,500 円を「ＷＥＢ出願サイト」で支払処理をしてください。災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置については、８頁をご覧ください。

※１　「推薦選抜」に出願し、合格内定とならなかった者が「帰国生徒特別選抜」に出願する場合は、①～④の再提出・再登録及び⑥検定料の再納入は不要です（⑤は要提出）。

※２　電子媒体様式が、本校ウェブサイトよりダウンロードできます。
（学校で保存している過去の様式を使用しないでください。）
https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/shiryou.html

4.　選抜の方法

学力検査の成績、面接及び学校長から提出された調査書を総合して行います。

学力検査は、国語、数学、理科及び英語の４教科で、各教科 100 点、計 400 点満点で採点したものを、数学を２倍、理科及び英語を 1.5 倍に換算し、合計 600 点満点とします。

学力検査の解答はマークシート方式です。ＨＢ黒鉛筆でのみ記入してください。

5.　選抜日程

選抜日・集合時間	時間※1	科目等	検査会場
令和９年２月 14 日（日） 8：40 ～9：00 入室	9 ：30 ～ 10：20	理科	本校※２
	10：40 ～ 11：30	英語	
	11：50 ～ 12：40	数学	
	13：30 ～ 14：20	国語	
	14：50 ～	面接	

※１　不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不適当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※２　検査会場では室内履きは必要ありません。

6.　追試験

(1)　追試験の対象者

令和９年度入学者選抜に出願した者について、次のいずれかにあてはまる場合は、「帰国生徒特別選抜」の追試験を受験することができます。

①　学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者で、本試験当日の集合時間（９時）までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者。

②　①を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由（月経随伴症状等を含む）で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者で、校長がその申請を認めた者

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関又は中学校等の長による証明書等を当日まで、もしくは後日必ず提出してください。追試験の受験にあたっては、再度出願や調査書等の提出、検定料を納める必要はありません。

(2)　追試験の日程

選抜日・集合時間	時間 ※1	科目等	検査会場
令和９年２月21日（日） ８：40 ～９：00 入室	９：30 ～ 10：20	理科	本校※2
	10：40 ～ 11：30	英語	
	11：50 ～ 12：40	数学	
	13：30 ～ 14：20	国語	
	14：50 ～	面接	

※１　不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不適当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※２　検査会場では室内履きは必要ありません。

(3)　合格者の発表

合格者の発表日時及び方法については、本試験と同様に行います。

Ⅳ．出願上の注意事項

1.　出願書類に事実に反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すこと、入学後に判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

2.　受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。

(1) ＷＥＢ出願エントリーにて検定料を納付したが出願書類を提出しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合

(2) 検定料を重複して納付した場合

(3) 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた場合

詳細は８頁をご覧ください

3.　入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますのであらかじめご了承ください。

(1) 入学後の教育・指導

(2) 入学料、授業料の免除申請の審査

(3) 奨学金申請の審査

(4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

(5) 同窓会、後援会等の案内

Ⅴ．合格者の発表

合格者の発表日時、方法等は以下のとおりです。

1. 日時

令和９年３月３日（水）　午前 10 時

2. 方法等

合格者の受験番号を本校校内に掲示するとともに、本校ホームページに掲載します。

また、郵送（発表日発送）で在籍学校を通じて、合格者に通知します。ただし、出願資格の③に該当する者と①～②に定める教育機関を卒業又は修了した者には、直接本人に通知します。

在籍学校長又はその委任を受けた教職員が希望する場合に限り、本校学生課で通知を受け取ることができます（午前 10 時から午後２時まで）。本校での受け取りを希望する学校は、必ず事前に本校学生課までご連絡ください。(受け取りには学校長委任状、身分証明書が必要です)。

なお、電話等による問い合わせには、一切応じません。

本校ホームページへの掲載は、合格者の発表日から１週間とします。

https://www2.tokuyama.ac.jp/gouhi/

Ⅵ．入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和９年３月 17 日（水）【必着】までに、入学確約書（合格通知書と併せて送付します。）を提出してください。期限までに提出がない場合は、入学の意志がないものとして取り扱います。

Ⅶ．新入生修学指導説明会

入学者を対象に修学指導を行うための説明会を令和８年３月 19 日（木）13 時 30 分から本校で開催します（受付 12 時 30 分～）。この場で、入学手続きも行うため、入学者は必ず出席してください。説明会の案内及び入学手続きは、合格通知に同封します。

Ⅷ．学力検査成績の開示について

開示を希望する者は、学力検査成績開示申請書に必要事項を記入のうえ、受験票を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。開示は、受験者本人からの申請に限ります。

申請書式のダウンロードおよび詳細は https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/kaiji.html を参照してください。

Ⅸ．事務電算上で使用可能な漢字について

入学者選抜事務では、電算処理する関係上、使用可能な漢字は原則として JIS 第１・２水準（計 6,355 字）のみです。JIS に定められていない漢字を氏名に持つ受験者については、ＷＥＢ出願時

にチェック項目にチェックを付けてください。また、印刷時に本当の漢字と異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

X．入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願期限の１か月前にあたる令和８年 12 月 16 日（水）を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ)」によって示されている、1）障害者手帳の種別・等級・区分認定、2）適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3）標準化された心理検査等の結果、4）専門家の所見、5）中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6）本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※　根拠資料に関しては提出の要否に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校で確認します。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」をお勧めします。選抜後、または入学後に合理的配慮に関して初めて相談する場合は、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談は、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口　学生課教務係　（TEL）0834-29-6233
（FAX）0834-29-6161
（Mail）kyoumu@tokuyama.ac.jp

XI. 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置について

入学志願者のその主たる家計支持者が令和８年度に災害救助法適用地域に居住していて被災した場合には、検定料免除申請書に必要書類を添えて提出することで検定料が免除されます。

詳細については、学生課教務係へお問い合わせください。

XII. ＷＥＢ出願手順について

1. ＷＥＢ出願エントリー

(1) ＷＥＢ出願サイトへのアクセス

本校ホームページに URL を掲載します。パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかをご利用ください。ＷＥＢ出願を行う環境がない場合は在籍中学校等又は本校へご相談ください。

(2) ユーザ登録

メールアドレスを ID として登録してください。登録を完了すると登録完了メールが送信されます。事前に「@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メールの設定を確認しておいてください。メールが届かない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。（出願サイトの「お問合せ先」に記載）

(3) 出願情報登録

ＷＥＢ出願エントリー期間は、令和８年 12 月１日（火）から開始です。余裕を持って手続きをしてください。

(4) 申込内容の確認

入力した内容を確認した後は「保存して中断する」を選択して入力内容を保存します。この時点では「お支払い画面へ」は選択しないでください。マイページの「申込確認」から「申込内容確認書」を出力し、保護者と中学校等に確認してもらってください。

(5) 検定料支払処理

出願内容の確認が終了後、マイページの「続きから」から「お支払い画面へ」を選択してください。検定料の納付はクレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関 ATM（ペイジー）をご利用ください。なお、納付には別途手数料がかかります（申込者負担）。

(6) 受験票の作成、印刷

受験票は提出の必要はありません。試験当日に持参してください。

(7) 写真票の作成、印刷

写真票は写真データをアップロードしてカラー印刷するか、印刷した写真票に写真を貼付して提出してください。

2. 出願書類提出

在籍中学校等を経由して、必要な書類を持参又は郵送にて提出してください。（２頁）

ＷＥＢ出願の流れ

出願にあたり、以下の内容をご確認いただくとともに、本校ホームページの「ＷＥＢ出願エントリー説明書」をご参照ください

・募集要項の内容に関するお問合せ先：本校学生課教務係

・ＷＥＢ出願システムに関するお問合せ先：サポートセンター

出願サイト右下にある「お問合せ先」から電話番号を確認してください。

本校ホームページ

募集期間が近くなりましたら、本校ホームページに出願サイトのＵＲＬを掲載します。

▼

出願サイト

パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかをご利用ください。ＷＥＢ出願を行う環境がない場合は在籍中学校等又は本校へご相談ください。

▼

ユーザ登録

メールアドレスをIDとして登録してください。緊急連絡時にもすぐご確認いただけるメールアドレスをご登録ください。パスワードは忘れないようにメモをとっておいてください。
登録を完了すると登録完了メールが送信されます。事前に「@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように、迷惑メール等の設定を確認しておいてください。

▼

顔写真データ
アップロード（任意）

撮影した受験者の顔写真データをアップロードしてください。アップロードしない場合は、写真票印刷後、写真貼付欄に受験者の写真（タテ４．５ｃｍ×ヨコ３．５ｃｍ）を貼付してください。
（無背景・無帽・カラー　３か月以内に撮影したものに限る）

▼

出願情報登録

選抜区分等を選択し、志願者情報を入力してください。

▼

申込内容の確認

入力した内容を確認した後、**「保存して中断する」を選択して入力内容を保存します。この時点では、「お支払い画面へ」は選択しないでください。**マイページの「申込確認」から「申込内容確認書」を印刷し、保護者と中学校等に確認してもらってください。

▼

検定料支払処理

出願内容の確認終了後、マイページの「続きから」から「お支払い画面へ」を選択してください。検定料のお支払いは、クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM(ペイジー)をご利用ください。本校窓口でのお支払いはできません。なお、お支払いには別途手数料がかかります。検定料のお支払い後、申込受付完了メールが届きます。また、検定料のお支払い後、出願内容の変更はできません。

▼

受験票・写真票の作成、印刷

受験票の提出は必要ありません。ご自宅やコンビニエンスストア等で印刷して、試験当日に持参してください。
写真票は写真データをアップロードしてカラー印刷するか、印刷した写真票に写真を貼付して提出してください。

▼

出願書類郵送

出願書類は、在籍中学校等にてとりまとめ、出願書類受付期間中に到着するよう郵送又は持参してください。

▼

入試当日

受験票をお持ちの上、会場へ集合してください。

XIII. 徳山工業高等専門学校入学案内

１．本校の概要

本校は、「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育み、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」という建学の理念のもと、５年間の一貫したきめ細やかな講義、演習、実験・実習や課題発見・解決型授業などを通して、専門分野の基礎から応用までの知識や技術などに裏付けされた実践力、創造力やコミュニケーション力などを身につけるための教育を行っています。

卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

２．育成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者」を育成することをめざしています。

３．学習・教育目標並びに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

（A）「世界に通用する」技術者をめざすために

（A1）複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

（A2）国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

○ 自らの目標を定め、外部試験を活用して英語力のステップアップを図る

（B）「実践力のある」技術者をめざすために

（B1）情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること

○ 情報関連・実験の科目を修得する

（B2）自主性と自立性を養うこと

○ 卒業研究の科目を修得する

（C）「開発型」技術者をめざすために

（C1）複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること

○ メカトロニクス技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する

（C2）課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

○ 創造系の科目を修得する

○ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

４．学科案内

本校は、次の３学科から構成され、いずれも複合学科です。
各学科の概要は次のとおりです。

機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロニクス技術
「データ・情報・通信技術を活用し、持続可能な社会を実現する機械システムを設計製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになっています。
本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。
また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から３次元 CAD による製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術
「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。
本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術
「情報技術を活用し社会基盤（インフラ）や建築空間を設計・施工する技術」

人類の生活を根底から支える土木工学と建築学を学ぶことは、持続可能な社会形成のためにも今後ますます重要となります。
本学科では、本科３年生まで土木工学と建築学を複合的に学び、４・５年生では「土木コース」と「建築コース」のいずれかを選択し、各コースの必履修科目をベースに応用的な選択科目を履修していきます。土木・建築どちらのコースにおいても本学科卒業時に「測量士補」の資格が得られ、実務経験３年で「測量士」の資格が得られます。また、建築コースでは建築士受験のための指定科目を修得することで、

本学科卒業後、「二級建築士」及び「一級建築士」の受験資格が得られます（ただし、一級建築士の登録には試験合格後４年の実務経験が必要です。）。

一般科目

一般科目は、広い視野をもったすぐれた技術者を育てるため、豊かな教養を身につけること及び専門の知識や技術を習得するための学問的基礎を養うことを目的としています。１～５年の全授業時間数の約半数がこれに充てられています。低学年の授業は、一般科目が主となりますが、学年が進むにつれて一般科目は減少し専門科目が増加します。

５．教育課程

授業科目は、各学科に共通の一般科目と学科ごとに異なる専門科目に分かれて開設されており、所要の科目を５年間で学びます。

詳しくは学校 HP を参考にしてください。

６．入学時に要する諸経費

区分		金額
入学料		84,600 円
授業料（注）	前期分	117,300 円
日本スポーツ振興センター掛金	年額	1,550 円
学生会入会金		1,000 円
学生会費	年額	4,000 円
教科書代	（学科により異なる）	約 85,000～110,000 円
体育衣等		
実習服等		
製図用具等		
その他		

（注）入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。また、高等学校等就学支援金制度の適用があります。次ページを参照してください。

(1)　入学料及び授業料の納入について

入学料は、令和９年３月 19 日（金）までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

(2)　携帯情報機器の持込みについて

本校では学生個人の携帯情報機器（PC（パソコン）、タブレット端末、スマートフォン等）を授業等で使用しています。授業科目の担当教員の指示・許可のもと、授業ノートやレポートの作成、また学業に必要な情報検索などに PC 等を積極的に活用することを推奨しています。そのための Wi-Fi 環境も校内に整備されています。

なお、入学後、学科別に、指定された学年の段階で、所定の仕様を満たした PC 等を準備してください。入学確定後、学科別に、授業に必要な PC 等の詳細をお知らせします。また、感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置として遠隔授業を実施することがありますので、ご家庭においてインターネット環境を整備してください。

７．入学料・授業料減免制度、高等学校等就学支援金制度及び奨学金制度

(1) 入学料 ・ 授業料減免制度

新入生のうち一定の基準を満たす学生は、入学料が免除もしくは徴収猶予されることがあります。

１年生から３年生までの学生で、規則で定められている特別な事情により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、授業料が免除されることがあります。また、４年生以上の学生は高等教育の修学支援新制度により、一定の家計基準を満たし、学修意欲があると認められる者については、授業料等が免除もしくは減額されることがあります。

(2) 高等学校等就学支援金制度

本制度は、我が国社会を担う豊かな人間性を備えた人材を育成するため、高等学校等における教育に係る経済的負担の一部を社会全体で負担することにより、教育の機会均等及び自らの希望に応じた教育を受けることのできる環境の整備を図ることを目的としています。

国立高等専門学校（１～３年生）も本制度の対象になっており、授業料の支援として世帯年収に関わらず日本人等の学生を対象に 「就学支援金」が支給されます。

なお、対象となる学生には、国籍・在留資格等の要件があります。

(3) 奨学金制度

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、選考のうえ日本学生支援機構や、その他の団体などから奨学金が貸与又は給付されます。

① 日本学生支援機構の奨学生として採用を希望する者は、入学後に出願することになります。
詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

② その他の奨学金制度として、「山口県ひとづくり財団」や各自治体などのものがあります。

８．学寮

(1) 施設

冷暖房及び全室 Wi-Fi 完備の学寮「高城寮」（男子定員 120 名、女子定員 31 名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を過ごすことができます。

(2) 入寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

(3) 経費（令和８年度の場合）

寄宿料	月額	800 円（１人部屋）、700 円（２人部屋）
食費（１日３食）	月額	約 43,000 円
寮費（光熱水費等）	月額	8,000 円
寮費（空調機維持管理費）	半期	3,000 円
入寮費	入寮時	1,000 円
寮生会費	年額	1,500 円

９．学生生活

本校では「自分で考え、行動し、しかも自分の行為に責任をもつ」という自主性の育成に教育の重点をおいています。

(1) 制服について

１～３年生は定められた制服を着用しなければなりません。４年生以上は制服以外の服装で通学してよいが、この場合の服装は本校の学生としての品位をそこなわないものでなければなりません。

(2) 通学について

自転車通学については、許可制になっています。３年生以下の学生は、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車（原付バイク）を運転して通学することを原則として禁止しています。

ただし、４年生以上の学生については、一定の条件を満たした場合にバイク等の通学を許可しています。

10. 構内施設・課外活動

(1) 構内施設

学生が利用できる施設として、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設及び図書館、福利厚生センター、合宿研修施設、学生食堂などがあります。

(2) 学生会活動

本校には学生全員をもって構成する学生会があり、学生生活における集団活動への積極的参加、自発的な活動による自主性、人間形成の助長を目的として活動しています。

(3) クラブ活動

陸上競技部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部、剣道部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、バドミントン部、ハンドボール部、テニス部、アーチェリー部、ダンス部、女子ハンドボール同好会

総合文化部、音楽部、吹奏楽部、メカトロシステム部、ニューメディア部、茶道部、デザイン研究部、アマチュア無線部

調　　査　　書

○○○

志願校	徳山工業高等専門学校	第一志願	○○○　科	併願校の有無	有
			—　コース	併願校	（私立）　○○○　高等学校
		第二志願	◇◇◇　科		（私立）　□□□　高等学校
			—　コース		（国立）　◇◇◇　学校
		第三志願	—　科		（公立）　□□□　高等学校
			—　コース	本校の志望順位	位

受験番号

氏名	ふりがな	性別	生年月日	平成　年　月　日生
			卒業年月	令和　年　月　中学校　卒業見込

学習の記録

教科	観点別学習状況 観点	評価 1年	評価 2年	評価 3年	評定 1年	評定 2年	評定 3年
国語	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
社会	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
数学	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
理科	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
外国語（英語）	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
5教科の評定合計 (a)					0	0	0

教科	観点別学習状況 観点	評価 1年	評価 2年	評価 3年	評定 1年	評定 2年	評定 3年
音楽	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
美術	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
保健体育	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
技術・家庭	知識・技能						
	思考・判断・表現						
	主体的に学習に取り組む態度						
4教科の評定合計 (b)					0	0	0
9教科の評定合計（(a)＋(b)）					0	0	0
9教科の評定合計の3か年の合計					0		

5教科の評定合計の3か年の合計	0	5教科の評定合計の2か年の合計	0	特記事項
5教科(3か年)の評定平均値	0	5教科(2か年)の評定平均値	0	
9教科(3か年)の評定平均値	0	9教科(2か年)の評定平均値（合計）	0（0）	

行動の記録

項目		項目	
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤労・奉仕	
責任感		公正・公平	
創意工夫		公共心・公徳心	

出欠の記録

学年	欠席日数	遅刻回数	早退回数	備考（主な理由）
1年				
2年				
3年				
合計				

総合所見及び参考となる諸事項

上記の記載事項に相違ありません。

令和　　年　　月　　日　　記載者 _____

中学校長 _____ 印

備考　用紙は上質紙（再生紙）70kg,大きさは日本産業規格A列４とする。

徳山高専への案内図

徳山駅前より防長交通バス運行（７番乗場）

推薦入試は土曜日に実施するので，下記の定期便が運行しています。

徳山駅(久米温泉口行)①→大学高専下②下車(所要約 20 分)→徳山高専③徒歩 10 分

学力入試当日は，徳山駅①から徳山高専③までの臨時バスを運行します。

事前に各中学校へ利用調査を行います。

タクシー利用の場合

徳山駅より	約６km	所要時間 ２０分程度
櫛ケ浜駅より	約４km	所要時間 １０分程度

山陽自動車道徳山東インター④から徳山高専③まで自動車で５分

※ ○番号は，地図の番号を指す。

